学びのデザインシート（本時）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【外国語／論理・表現Ⅱ】

１．対象　２年

英語に苦手意識を持っている生徒が多いが、教師の働きかけによっては積極的に話そうとする姿勢が見られる。全体的に自発的な発言が少ないが、真面目に取り組むことができる。

２．単元名「Lesson 4 A Fan Letter」（全４時間）

３．単元の目標

知識及び技能	帰国する ALT に感謝の気持ちを伝える手紙を、教科書の語彙や表現を用い、書くことができる。
思考力，判断力，表現力等	ALT との思い出を入れながら、帰国する ALT に感謝の気持ちを伝える手紙を書くことができる。
学びに向かう力，人間性等	ALT との思い出を入れながら、帰国する ALT に感謝の気持ちを伝える手紙を、他者の意見を取り入れながら、書こうとしている。

４．言語活動

使用する語句や文が示されれば、構成を工夫しながら、感謝の気持ちを書いて伝えることができる。

５．本時の目標

ALT からの返信メールと様々な形式の thank-you letter 及び教科書のファンレター を読み比べて、実際に書く手紙に使用する語句や表現を考える。

６．授業展開

解決したい課題や問い
Write a thank-you letter to ALT

考えるための材料		
材料 A	材料 B	材料 C
ALT への質問ワークシート	様々な形式の thank-you letter	教科書に載っている a fan letter
想定される活動		
ALT との思い出や、母国のことなどを質問することで、ALT への手紙に書く内容を考えることができる。	様々な形式の thank-you letter を読んで、personal letter としてふさわしい感謝の表現を見つけることができる。また、目的に合わせて、感謝の気持ちを伝える表現が違うことにも気づくことができる。	a fan letter に使用されている表現の中で、感謝の気持ちや相手を想う気持ちを伝える箇所を見つけ、応用してみる。

対話と思考（対話を通した協働的な問題解決のプロセス）
(1)教科書の本文を読み、内容を理解する。（個人）(1) (2)実際に手紙を書いてみる。（ロイロノート→教師に提出）（個人）（１回目）(1) (3)ALT について質問することをペアで考え、ワークシートに書き出す。（ペア）(1) (4)ALT へメールで質問する。”What memory do you remember best?”（グループ）(1) (5)ALT からの返信をもとに、ALT との思い出や母国のことについて感謝の手紙に書く内容を考える。 （グループ）（２：本時）

(6)様々な形式の thank-you letter を読み、形式ごとの違いに気づく。また、ALT への手紙にはどのような表現がふさわしいか考える。”appreciate の方がいい？ thank you for のあとは動詞？名詞？sincerely って最後に書くの? “（ペア）（２：本時)
(7) １回目で書いた手紙を読み比べ、効果的に書き手の意図を伝えている表現について意見を出し合う。（グループ） (2)
(8) (7)で出た意見をもとに、手紙を書き直す（２回目）（個人） (3)
(9) (8)の手紙をペアで読み相互評価する。（ペア） (4)

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

Dear ○○,

Thank you for teaching English to us. We enjoyed your lesson very much. I came to become interested in learning English. Your Halloween lesson was the best for me. I really hope you will come back to Japan someday.

Again, thank you for being our English teacher. Keep in touch.

Best wishes,

○○○○○

評価基準

A：感謝の気持ちや ALT との思い出に加えて、教科書の表現や参考にした手紙の表現を応用できる。
B：感謝の気持ちと、ALT との思い出を書くことができる。C：感謝の気持ちのみ書くことができる。